

# 特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成26年7～9月）のポイント

※特定本邦事業者

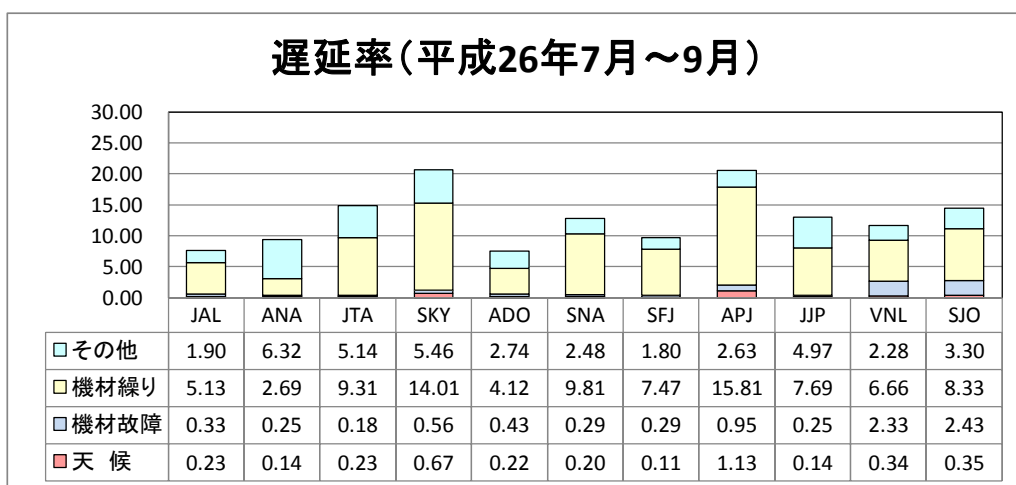
- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイエア、ジャルエクスプレス）
  - 全日本空輸：ANA（全日本空輸、ANAウイングス）
  - 日本トランスオーシャン航空：JTA
  - スカイマーク：SKY
  - AIRDO：ADO
  - スカイネットアジア航空：SNA
  - スターフライヤー：SFJ
  - Peach Aviation：APJ
  - ジェットスター・ジャパン：JJP
  - ハネーライア：VNL
  - 春秋航空日本：SJO
- ※SJOは2014年8月1日から運航開始

## 1. 輸送サービスの比較等に関する情報

### （1）遅延率（平成26年7月～9月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
10.50%	8.70%	1.8ポイント上昇

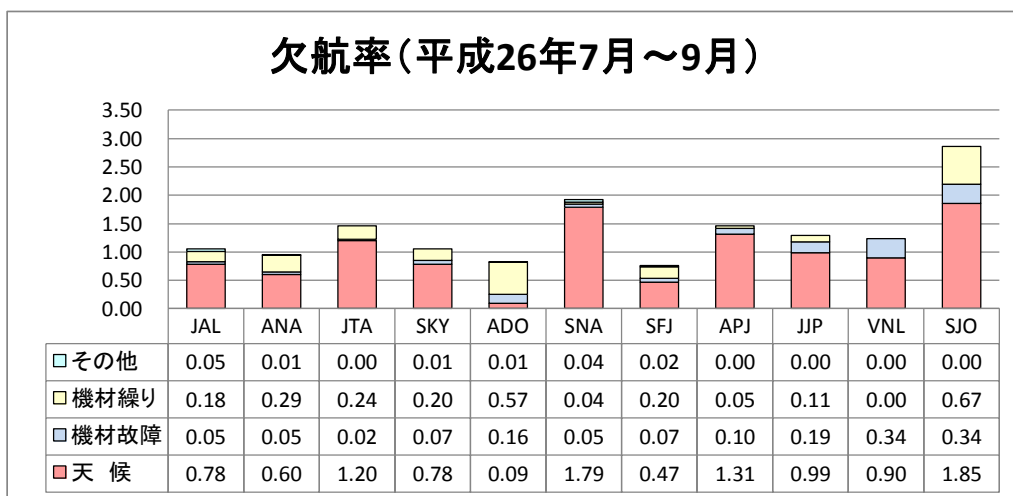
※備考「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

### （2）欠航率（平成26年7月～9月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
1.06%	0.82%	0.24ポイント上昇



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

## 2. 運賃関連情報

### (1) 輸送実績（平成26年7月～9月）

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	936km	920km	1.74%増
輸送人員	2519万9938人	2488万8785人	1.25%増
輸送人キロ	235億8730万人km	229億0398万人km	2.98%増
旅客収入	3966億74百万円	3925億59百万円	1.05%増
輸送人員あたり 旅客収入	15.7千円	15.8千円	0.63%減
輸送人キロあたり 旅客収入	16.8円	17.1円	1.75%減

### (2) 路線別データ（平成26年7月～9月）

#### ①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	252万8766人
2位	東京＝福岡	205万5930人
3位	東京＝那覇	150万1053人
4位	東京＝大阪	132万0847人
5位	東京＝鹿児島	61万0493人
	全路線	2493万3600人

#### ②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	関西＝仙台	91.5%
2位	東京＝宮古島	89.4%
3位	関西＝鹿児島	89.3%
4位	奄美＝成田	86.5%
5位	大阪＝松本	84.9%
	全路線	68.3%

下位5路線は次のとおり。

1位	東京＝大島	17.8%
2位	宮古＝石垣	25.5%
3位	中部＝茨城	27.9%
4位	成田＝米子	38.5%
5位	札幌＝稚内	40.2%
	全路線	68.3%

## 3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成26年7～9月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールス（搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 （1万人あたり）	
		当期実績	前期実績
①	スターフライヤー	5.37人	3.41人
②	全日本空輸	3.46人	2.91人
③	スカイネットアジア	2.05人	1.06人
	全社平均	2.58人	2.36人

※今回の公開項目の詳細、及び過去の公開資料につきましては、国土交通省のホームページ上にてご確認頂けます。

(URL)[http://www.mlit.go.jp/koku/15\\_bf\\_000727.html](http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000727.html)